

1 児童の体力・運動能力等に係る現状

昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果では、
1週間の総運動時間
 男子は運動に時間を費やしている人が多く1時間以上と答える割合が96.2%であった。女子は運動に時間を費やしているとそうでない人の差が大きく、1時間未満と答えた割合が17.1%であった。
児童質問紙集計より
 運動は好きかの問いに、男子は96%、女子は80%と回答。男子は全国、全道平均より多い。「体育が楽しい、やや楽しい」では、男子は100%で、全国、全道平均より多く、女子は89%で、全国、全道平均よりやや多い。どんなとき楽しいと感じるかの問いでは、男女ともに「できなかったことができるようになったとき」「記録に挑戦したり、記録があがったり、競い合ったりしたとき」をあげた人が多かった。
実技集計
 総合評価はA、B、Cの割合が全国、北海道平均よりも少なく、D、Eが多かった。実技度数分布表で見ると50m走、長座体前屈、握力が明らかに男女ともに低め、反復横跳びが男女で高めに出ている。体格調査では、体重が全国平均よりも上回っており、恰幅のよい人が多いことによる結果であると考えられる。

2 児童の体力・運動能力等の現状から分析した課題

調査結果から集団としてみたときに運動に対してはこうていてきではあるが、瞬発力や柔軟性に課題が見られる。このため以下のように解決を図る。
 ○ 体育・保健体育授業の改善・充実に向けた課題
 単位時間のはじめに能力向上に向けた動きを継続的に取り入れる。
 ○ 体育・保健体育授業以外の体力向上に向けた取組に係る課題
 課題が残る能力向上にかかわる運動の仕方の掲示や場の提供ができるよう校内環境を整備していく。
 ○ 生活習慣や運動習慣の確立に向けた取組に係る課題
 学校通信や学年通信等を通して運動の取組状況や達成状況などを周知し、家庭と協力して運動習慣の確立を目指す。

3 学年ごとの目標（数値目標）

<体力・運動能力>

学年	目 標
1年	・50m走 学年で平均11.62秒 以下
2年	・50m走 学年で平均10.77秒 以下
3年	・50m走 学年で平均10.28秒 以下
4年	・50m走 学年で平均9.85秒 以下
5年	・50m走 学年で平均9.44秒 以下
6年	・50m走 学年で平均9.10秒 以下

<生活習慣・運動習慣>

学年	目 標
1年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上
2年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上
3年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上
4年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上
5年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上
6年	・毎日朝食95%以上、運動が好き95%以上

4 児童の体力・運動能力等に応じた具体的な取組

- (1) 体育授業内での取組
 - ①20mダッシュやウォーミングアップ時の柔軟運動の充実
 - ②運動のコツや手本などの提示による意欲促進
- (2) 体育授業以外の年間を通じた取組
 - ①運動の仕方を記載した印刷物などの掲示
 - ②積極的な外遊びや体育館遊びの推奨
- (3) 保護者や地域と連携した取組
 - ①お便りなどを使った食育や体力向上に関する呼びかけ
 - ②栄養教諭や養護教諭と連携した食育に関する指導

5 実施計画

年月日	計 画 内 容
R8年	
4月	・能力向上に向けた運動の取組（20mダッシュや柔軟運動）
5月	・運動会
6月	○新体力テスト実施 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施
7月	・プール学習
8月	・プール学習 ○新体力テスト結果分析 ○体力向上改善プランの評価・改善
9月	・秋期の50m走、シャトルラン計測（10月まで）
10月	・シャトルラン記録の掲示 ・能力向上に向けた運動の見直しと提案 ・食育教室
11月	・どさん子元気アップチャレンジ記録測定 ・児童アンケート
12月	・保護者アンケート
R9年	
1月	○保護者への調査結果の説明 ○体力向上改善プランの評価・改善 ・どさん子元気アップチャレンジ記録掲示 ・スキー学習
2月	・スキー学習 ○新体力向上改善プランの作成
3月	・

6 評価方法

- (1) 体育授業内での取り組み
 - ①年度末反省
 - ②体力テストの結果や秋期の測定結果から判断する。
- (2) 体育授業以外の年間を通じた取組
 - ①体力テストの結果や年度末反省の中で行う
 - ②児童アンケートの結果や年度末反省の中で行う
- (3) 保護者や地域と連携した取組
 - ①児童・保護者アンケートの結果から判断する
 - ②年度末反省の中で行う